



病院NOW

2018年
第82号
10月

2018年10月1日発行
(年4回発行)

坂口太一先生の兵庫医科大学教授就任を祝す

理事長 榊原 敬

このたびは坂口太一先生は兵庫医科大学心臓血管外科主任教授に招聘され、10月1日付で就任されました。当院からの教授就任は2人目で大変名譽なことであり光榮であります。誠にありがとうございます。

坂口先生は平成4年大阪大学医学部を卒業され、平成11年から米国コロンビア大学へ留学され研鑽を積まれました。リサーチフェロー、クリニカルフェロー、インストラクターと狭き門をくぐり抜け、8年間にわたり低侵襲心臓外科手術、心臓移植、

補助人工心臓に優れた実績を出してこられました。

帰国後大阪大学准教授を経て、平成24年当院副院長に就任いただいた際「安全で低侵襲だけでなく、美容面にも気を使い、退院後の生活の質を損なわないような手術を心掛けてまいります。岡山で世界最高水準の治療を提供できるよう努力してまいります」と抱負を述べられました。その言葉どおり、助間小切開で行う心臓弁膜症手術や冠動脈バイパス術（低侵襲心臓手術）や重症心不全に対する

外科治療に尽力されました。坂口先生への手術紹介は県内だけでなく県外からも多く、その卓越した手腕は医療関係者から高く評価されています。チーム医療として皆で力を合わせてきた結果、心臓大血管手術症例数は年間約700例と全国で3指に入り、高い技術力が求められる低侵襲心臓外科手術ではわが国で行われている年間約1,000例の手術例のうち約130例を占め、当院は全国トップレベルの施設と

なっています。さらに意欲に溢れる若手心臓外科医の

育成にも取り組んでいただきました。こうした手際のよい手術や安全確実な術前・術後管理は、確固たる目標と地道な努力なしにできることではありません。坂口先生には教授就任された後も、当院で毎週金曜日には心臓外科手術、土曜日午前には外来診療をしていただくことになっていきます。今後とも心臓なら榊原といわれるように、職員一同しっかりと頑張ってください。引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

心臓病センター榊原病院とともに

心臓血管外科

前副院長 坂口 太一

2011年の秋、初めて榊原病院を訪れた時に、名誉理事長に建設中の新病院を案内していただきました。鉄骨むき出しの現場を歩きながら、その大きさと設備の素晴らしさに圧倒され、そこで自ら追い求める治療を実践できる期待感で胸がいっぱいになったのを覚えています。それから6年あまりの間、病院の歴史と伝統に恥じない実績を上げるために、微力を尽くしてまいりました。榊原病院は診療実

績、学術実績ともに全国屈指の施設となり、私自身も大きく成長させていただきましたが、今回縁あって兵庫医科大学心臓血管外科に主任教授として移動することになりました。

申し上げます。さらには一生をかけた心臓手術を私たちのところまで受けて下さった病客さまに、あらためて深くお礼申し上げます。

これまで支えて下さった多くの方々にこの場をお借りしてお礼申し上げます。榊原宣言名誉理事長、敬理事長はもとより、医師、コメディカルや事務の皆さま、多くの病客さまをご紹介くださいました先生方に感謝

申し上げます。さらには一生をかけた心臓手術を私たちのところまで受けて下さった病客さまに、あらためて深くお礼申し上げます。

榊原病院は名実ともに国内トップクラスの心臓病センターです。それはスーパードクターがいるからではなく、すべての職員が病客さまを助けるという一つの目的のために努力を惜しまないからです。そのような優秀なスタッフを支えられた強固な土台があるかぎ

り、榊原病院のさらなる発展には疑いの余地がありません。私はこれからも榊原病院とともに歩んでいきたいという思いが強く、理事長のご厚意により非常勤として当院での診療を継続させていただきます。これまで以上に、手術を中心とする手術も行う予定にしておりますので、引き続き榊原病院をよろしくお願ひ申し上げます。

診療予定 心臓外科手術…毎週金曜日、外来診療…土曜日前

お見舞い 岡山県をはじめ西日本を襲った豪雨災害で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます



シンゾウくん

病院理念

病客さま一人ひとりの権利を尊重し、心のこもった安全で、質の高い医療の提供が私どもの理念です

榊原病院

検索

スポーツ活動と心臓

心臓血管外科部長 田村健太郎

暑さも和らぎ、スポーツの秋がやってまいりました。これからスポーツを始めようという方も多いのではないのでしょうか？今回はスポーツ活動と心臓についてのお話です。

近年スポーツ選手の突然死が相次いでいますが、その半数以上は心血管系(循環器)の疾患であるといわれています。2011年8月2日、サッカー元日本代表で松本山雅FCに所属する松田直樹選手(34)が練習中に倒れ、2日後に亡くなりました。死因は急性心筋梗塞と発表されています。2004年1月25日、ポルトガル1部ベンフィカに所属するフェヘノール選手は試合中に突然倒れ、病院に救急搬送されましたが、同日死亡が確認されました。死因は肥大型心筋症でした。

スポーツ中の突然死はプロスポーツ選手に限ったことではありません。よく知られているのはマラソン中の突然死です。マラソンは心血管系に大きな負担がかかるため、特に動脈硬化が進んでいる中高年者がいきなり長距離を走るの危険を伴います。これらのスポーツ中の心臓

突然死の原因としては、若年者では川崎病の一部、心筋症、先天性心疾患の一部(術前・術後)、不整脈、高齢者では虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)が考えられます。スポーツを安全に楽しむためには、動脈硬化に対する日々の予防対策が重要になります。高血圧・高脂血症・糖尿病・高尿酸血症・肥満・喫煙・ストレス・年齢(男性45歳、女性55歳以上)が大きな原因(リスクファクター)になります。

これらのリスクファクターをコントロールするためには気分的にも時間的にも楽に診療が受けられる身近なお医者さん、すなわち「かかりつけ医」(ホームドクター)を持つことをお勧めします。また、胸が締め付けられるような感じがする人・少し動くと息切れがする人・頭痛やめまいがしてふらふらする人・顔や足がむくんでいる人は当院のような専門施設で心臓検診を受けることをお勧めします。検査としては、血液生化学検査、胸部X線検査、心電図検査、心エコー(超音波検査)をまず行い、特に心臓に異常が疑われた

場合、運動負荷心電図、ホルター心電図(24時間心電図)、心筋シンチグラム(心筋の血流や機能を画像化する検査)、心臓カテーテル検査(細い管を冠動脈の入り口まで通し、冠動脈を造影する検査)を行います。これらのでディカルチェックを行ってあげば、安心してスポーツを楽しむことができるでしょう。ただし特に中高年の方は過度な運動は禁物です。マラソンや登山をするのであればトレイルニングを行い、心肺機能を高めるなどの準備が必要です。

東京マラソンでは過去のべ38万人のランナーのうち、8人の心肺停止者が出ましたが、全員救命されたそうです。その多くはバイスタンダーCPR(その場に居合わせた心肺蘇生)が機能したことも知られています。救急隊や医師が到着するまで、心臓マッサージだけでも行うことができれば、救命率が全然違ってきます。心臓マッサージや気道確保やAEDの役割など、心肺蘇生法についての知識を持つておくことを是非ともお勧めします。ご要望があれば講師を派遣いたします(無料)。

院内短信

▽年末年始の外来診療

12月29日より1月3日まで外来診療を休止します。なお、急患の診察、検査、手術はその間も行うことができますので、本館北側にある急患受付へおいでください。

▽秋の香「まつたけごはん」の給食

「まつたけ(岡山県産)ごはん」を例年どおり普通食を召し上がる方全員に給食いたします。ご期待ください。

▽ICU改修工事終了

かねてから工事中の4階ICU改修工事が終了しました。工事期間中はご迷惑やご不便をおかけいたしました。ご協力ありがとうございました。

▽救急フェア開催

9月9日救急の日(心臓病センター榊原病院救急フェア)を開催。救急法、認知症チェック、フィットネスなどを体験いただきました。

▽消化器外科医長交代

10月1日より医長浅香晋一が診療に当たります。

▽受賞

当院理学療法士松尾知洋の「第24回日本リハビリテーション学会学術集」での発表が優秀演題に選ばれました。

▽国境なき医師団からの帰国

当院麻酔科三浦由紀子(国境なき医師団登録医)は7月1〜24日、イラクでの医療活動に従事。8月1日無事帰院、当院業務に就いています。

▽卓球チーム優勝

当院の卓球チームが第53回病院協会主催卓球大会で、Aチームが優勝、Bチームも優秀な成績をおさめました。

▽レストラン「せとうち」リニューアルオープン

8月1日より1階にて営業しています。

▽バレーボールチーム優勝

当院のバレーボールチームが平成30年度病院協会主催バレーボール大会決勝大会で、優勝しました。

【営業日】月曜〜金曜

(土・日・祝休み)

【営業時間】

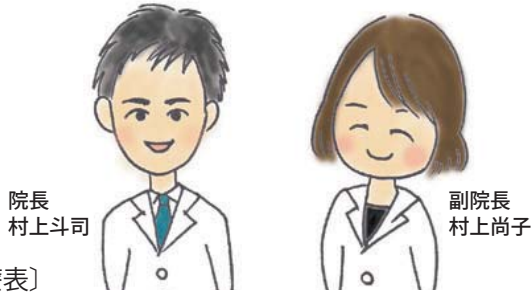
11:15〜13:30

連携医療機関紹介

さつき内科クリニック

〔住所〕〒703-8258 岡山市中区西川原 135-1
 〔電話〕086-206-1351
 〔HP〕http://satsuki-naika.com
 〔診療科〕内科、呼吸器内科、消化器内科

【村上斗司先生に伺いました】 さつき内科クリニックは2018年8月に開院したばかりの、呼吸器内科と消化器内科の専門医二人(夫婦)で診療をしているクリニックです。専門的知識や技術、総合的な判断力は当然のことながら、私たちのクリニックでは人と人とのふれあいを大事にしていきたいという思いで診療を行っていますので、お体のことでお困りがある際にはお気軽に何でもご相談していただければと思います。心臓センター榊原病院では非常勤医として呼吸器内科の診療を行っていることもあり、これからも一層の病診連携をお願いしたいと思っております。今後とも、よろしく願い申し上げます。



〔診療表〕

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	●	●	●	●	●	○	—
16:00~19:00	●	●	—	●	●	—	—

○土曜日は~13時 水・土曜 午後は休診 休診日/日曜日・祝日



「最高のかかりつけ医をお願いする三ヶ条」

- ①専門の病気だけでなく、さまざまな病気や不調を広く診ていただける。
- ②家族の問題や健康不安についても、しっかり話を聞いていただける。
- ③重大な病気を見逃さず、必要に応じて専門病院に紹介していただける。

主治医は2人

かかりつけ医
(地域の医療機関)

- ・日ごろの健康管理
- ・治療の継続
- ・当院との連携

情報共有

心臓病センター榊原病院

- ・かかりつけ医との連携
- ・専門的な診療、検査、手術
- ・緊急時の速やかな対応

当院にご紹介いただき、当院での治療で病状が落ちつきましたら、病客さまと相談の上、かかりつけ医と当院が連携して診療を続けてまいります。つまり主治医は「かかりつけ医」と当院医師の二人ということになります。

ご覧になりましたか

460例で全国3位、カテゴリーを指標とした全国ランキングを発表している。当院は心臓病分野で、外科手術数を指標とした全国ランキングを発表している。当院は心臓病分野で、外科手術数を

▽**プレジデント 頼れる病院ランキング** 2018
(18年6月29日発行)

全国3500病院の「治療実績」を指標とした全国ランキングを発表している。当院は心臓病分野で、外科手術数を

1位にランクされた。

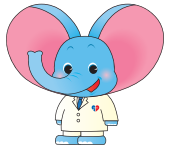
日本経済新聞社が、国内3200病院を対象に、症例数(診療実績)、医療の質や患者サービス(運営体制)、医療従事者の配置や医療機器などの設備(施設体制)の3つの指標を用いて病院の実力を測っている。狭心症治療の実力病院として、当院は全国の上位310病院のうち第5位、中国四地方で第1位にランクされた。

▽**日本経済新聞出版 日経実力病院調査** 2018・2019
(18年6月18日発行)

当院創設者榊原亨の次弟任について、任の言葉を紹介しながら解説している。兄弟二人で日本初となるボタロー管開存症手術を成功させたことや榊原家の家族についても紹介されている。

▽**龍野勝彦著 日経BPP刊**
君、それはおもしろい
はやくやりたまえ
(18年8月6日発行)

ル治療数1639例で全国6位、中国四地方ではともに第1位であった。症例数が多い病院は、紹介数も多くほかの病院からの信頼も厚い。症例数が多ければ、外科医だけでなくチームで手術に慣れている可能性が高く不測の事態にも対処できると紹介している。



ご意見 聞かせてください

ご意見箱 設置場所

- ・受付前 診療棟 2階
- ・デイルーム 診療棟 6階、7階
リハビリ棟 3階

沢山「ご意見ありがとうございます。ご意見は、貴重なご意見にしたい。病客さまによりそった病院を目標として努力してまいります。紙面の関係でいただいた趣旨を変えない範囲で簡略化する。ことお許しください。今後とも貴重なご意見いただき、ますますよろしくお願いいたします。」

「ご意見」 貴院にお世話になって28年になります。今回の手術では先生、スタッフの優しいお声がけが私にとってこれだけ心強かったことでしょう。受付の皆さまも笑顔で対応され癒やされました。今月退院しますが、皆さまにお会いできる日まで私も元気で過ごします。ありがとうございます!!

「ご意見」 約5年前より今日までお世話になっている者です。半年に一回検査を受けていましたが病状が進み相談したら2年後までもつか保証は出来ないとのこと。家内と話して現在なら体力もあるので、手術して貰うよう廣畑先生に申し出て、20日に手術しました。主治医の井上先生、都津川先生、看護師の福安さん、岡村さんいろいろと丁寧な説明をいただき心強く思いました。リハビリの先生の言葉は心に残り感謝しています。

「ご意見」 入院中は主治医の先生を始め、看護師さんには大変お世話になりました。榊原病院に入院ができて良かったと感謝しております。受け持ちの看護師さんの螺山さんには、病客に寄り添い、夜中でも気を使って下さり本当にありがたかったです。

「ご意見」 ICU、7F、リハビリ棟、すべてお世話になっています。先生、関係の皆さんに親切に対応していただき、ありがたく思っています。あとは、妻の回復を願っています。

「ご意見」 内科の橋本先生、大変お世話になりました。先生はいつも親切で、私の質問に丁寧に説明して下さいました。手術後、外科の病室まで様子を見て足を運んで下さったり、退院前にも来て下さいました。涙が出るほど嬉しかったです。病人一人ひとりを大事に思い、退院するまで気にかけて下さったこと感動いたしました。

「ご意見」 7Fの友次主任さん、澁川さん、大変お世話になりました。うございしました。手術後、外科の病室の様子を見に来て下さって、手を握って「よく頑張ったね」と声をかけていただきました。すごく嬉しかったです。温かい言葉に涙が出ました。入院中は色々気がかけていただき本当にありがたかったです。

「ご意見」 内科の林田先生、大変お世話になりました。先生はいつも優しく対応して下さい、とても安心いたしました。

「ご意見」 リハビリで指導していただいた二寶さん、松井さん大変お世話になりました。話が聞きやすかったです。全てを安心してお任せでき、親切・丁寧楽しくサポートして下さいました。本当にありがたかったです。

「ご意見」 手術をしていただいた坂口先生、橋本先生、大変お世話になりました。先生方のおかげで術後、回復も早く身体の調子も良好です。手術前親切・丁寧に分かりやすく説明

した。先生のおかげで手術日が早く決まり辛かった身体も順調に快復することが出来ました。本当にありがとうございます。ありがとうございました。

「ご意見」 6・7階の看護師の皆さん大変お世話になりました。ありがとうございました。皆さん、本当に優しいです。皆さんに温かい看護をしていただいたおかげで順調に快復することが出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

「ご意見」 眼科へ白内障で入院しました。この間、食事が楽しかったです。和風でもなく、バター味でもなく、野菜中心の美味しい食事をいただきました。食器類が美しかったです。食が進みました。ありがとうございました。

「ご意見」 【お返事】お食事を楽しんで召上がったこと関係職員一同大変喜んでおります。当院では季節を感じただけのよう、旬の食材の繊細な味と香りを活かす工夫をしています。今後も食事が「安全」「癒し」さらに「楽しみ」の時間となります。う味付けや調理に一層の努力をしてまいります。